

天然記念物 植物①

～天川のカヤノキ・藤原神社社叢林～

■天川のカヤノキ（イチイ科）

指定：昭和53年5月17日

所在：天川1639番地 草場和則 単木・個人所有

樹高：17メートル

幹周：6、57メートル

枝張：東西14メートル、南北15メートル

樹齢：700年（推定）

カヤノキは岩手、山形県以南九州、韓国済州島まで分布している。

指定のカヤノキは希に見る巨木であり、雌株なので、多くの実を着ける。実は食用になるほか、食用油・髪油。塗料などに利用される。良質の材がとれ、基盤や彫刻材として最高級である。このカヤノキには、沢山のセッコク（ラン科）が着生しており、毎年5月の花時には、カヤノキの大木全体に花が咲いたように見事である。

なお、この木にはノキシブ・マメツダ・オノマンネングサ・スイカズラが着生している。しかし、木生のアオキやネズミモチが付いているのは、カヤノキに腐食があるからで、除去し空洞化を早急に止める必要がある。

■藤原神社社叢林

指定：平成2年3月12日

所在：星領北向 藤原神社 神社境内及び後方の常緑広葉樹自然木

面積：3155平方メートル

スタジイ・アラカシ・タブノキ・ヤブツバキ・クロキなどが多く、アカガシの被度が高い照葉樹の森である。

特筆すべきは県内分布希なナツツバキ（ツバキ科）の巨木が在ったことである。胸高直径40㍍・樹高18㍍もあり、九州でも最大級であったが、原因が判らないまま枯死した。しかし、小さな子苗や、胸高直径25㍍程の株が何本も見られるのは幸いである。

なおこの社叢には、大きな樹木が多い。アカガシ（胸高直径130㍍・推定樹齢300年・県の名木・古木に指定）、サカキ（胸高直径30㍍）、コハウチワカエデ（胸高直径25㍍）、タムシバ（胸高直径18㍍）などがある。また、神社近くの森林にもナツツバキの成木や幼木があり、併せて保全したいものだ。

分野 自然

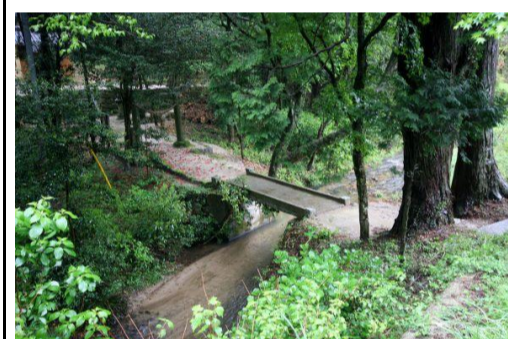
地域 巖木

◎地図・写真・統計資料など



天川のカヤノキと
やどり草のモッコク

天川の元庄屋々敷内のカヤの木は推定600年、樹枝全体にはモッコクが寄生し、花期には桜花とまがうほどの花をつける。この地が高地（約600メートル）で多湿のため生ずる現象である。（三塩政廣氏提供）



藤原神社社叢林と星領浮立
（巖木町教育委員会より）

◎引用・参考文献（出典）

◆『巖木町史』中巻

◎もっと詳しく知りたい方は

唐津市近代図書館へ
お問い合わせください。

■電話：0955-72-3467